

平成23年3月14日

浜田市議会議長 牛尾博美 様

議員名 三浦美穂

調査研究活動報告書

下記の通り調査研究のため視察等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 平成22年10月20日～22日
2. 視 察 先 千葉県銚子市・流山市
3. 調査旅費 54,814円
4. 調査活動の概要

※銚子市（人口7万人 面積約84km²）

①銚子市立総合病院の再生事業について

銚子市立総合病院は、昭和26年に開設。

病床数650床・診療科16科で運営されてきた歴史がある病院。

「新医師臨床制度」の影響により平成20年には、医師数13人となったため一旦休止となる。市民の病院休止反対署名もあり平成20年10月に、病院再開に向け「銚子病院事業あり方委員会」を設立。平成22年5月より「医療法人財団銚子市立病院再生機構」が指定管理者に指定され業務を再開。現在医師7名・5診療科である。このことから一度離れた患者はなかなか帰ってこないことや、自治体が運営する病院経営の厳しさや、住民自身はその町の医療をどう守るかという姿勢も問われる再生へのとりくみについて学ぶことができた。

②老人憩いの家・地域福祉センター訪問

平成18年よりNPO法人が指定管理している施設。

高齢者の健康増進また憩いの場を提供している。市内に住所のある60歳以上の誰もが利用でき送迎も無料でされている。運営が厳しい実態もあった。

※流山市（人口16万2千人 面積35km²）

①多機能携帯電話（スマートフォン）導入について

「議会活性化推進特別委員会」で市民に開かれた市議会の実現に向



け、導入が決定。

平成22年4月に、動画サイト「ユーストリーム」を活用し特別委員会の様子を、固定カメラでインターネット中継を開始。

9月には議会定例会で、スマートフォンを使っての採決が行われた。議会の透明性や、市政への市民参加を推進する手段としてICTを活用することは、今後加速されるのではないかと感じた。

以上